女川原子力発電所2号機の状況について



女川原子力発電所

(沸騰水型軽水炉)

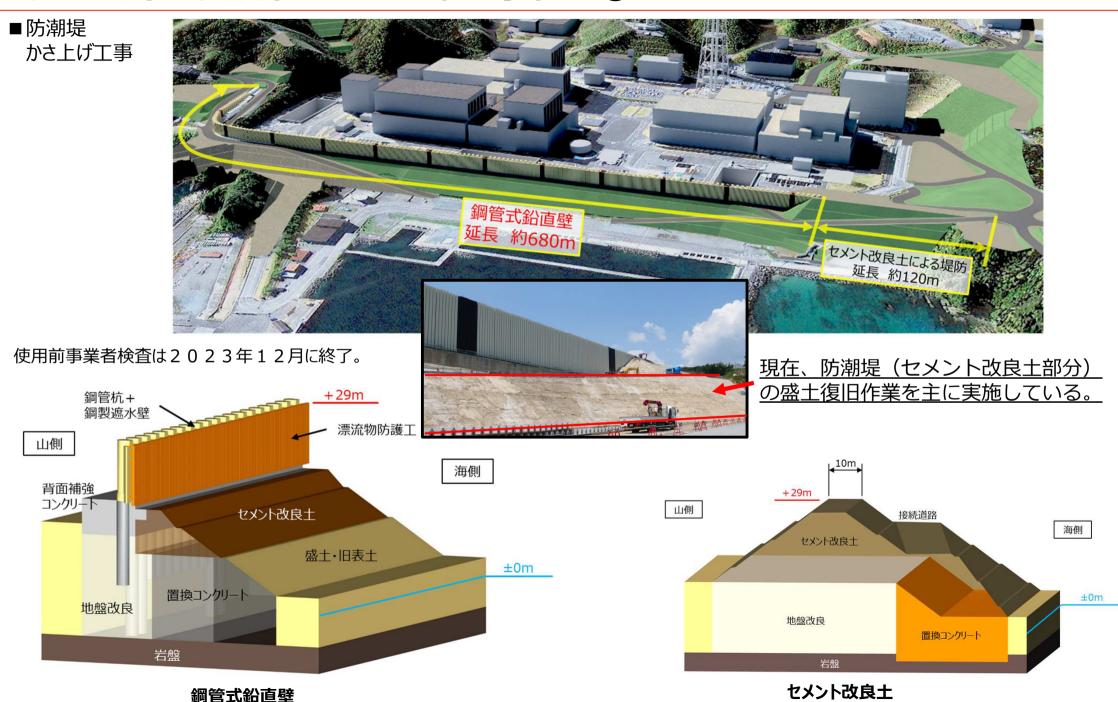
- ·1号機 廃止措置中
- ·2号機 82万5千kW
- ·3号機 82万5千kW



女川原子力発電所全景

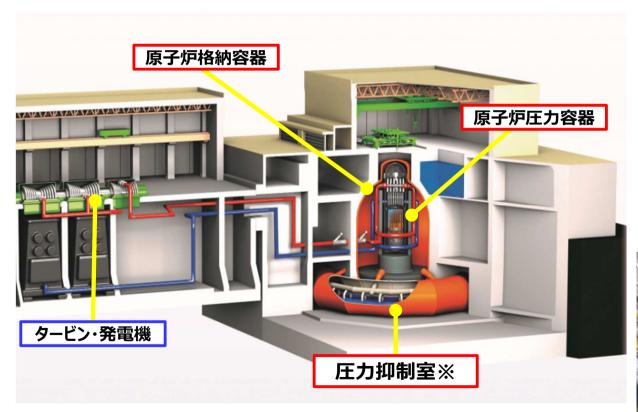


安全対策の実施状況 -主な工事状況① -



安全対策の実施状況 -主な工事状況②-

- ▶ 基準地震動に対する耐震性を確保する観点などから、圧力抑制室本体や内部の構造物に対して、新たな補強部材を追加することで耐震性向上を図る工事を進めている。
- ▶ 直径約1. 5 mの開口部(2箇所)からの内部へのアクセスや、構造物が入り組む狭隘な場所で複数の工事を平行して実施。
- ▶ 工事は、2022年3月から、耐震補強のための補強部材の溶接作業等、本格的な工事に着手し、直径約10mの圧力抑制室内側の補強工事は完了。
- > 使用前事業者検査は、現在「構造検査」を順次実施中



※原子炉格納容器の一部で、大量の水を常時貯蔵しており、非常時に原子炉格納容器の圧力を下げるための円環形(ドーナッ状)の構造物



圧力抑制室の実機模型



開口部(約1.5m)



耐震補強工事イメージ



内部の工事状況

安全対策の実施状況 -主な工事状況③-

■ ガスタービン発電機(車両は電気品建屋内部)※万一、外部電源(送電線 5 回線)や非常用ディーゼル発電機が使用できなくなった場合に原子炉建屋や緊急時対策 建屋に電力を供給する設備。現在、ガスタービン発電機用の電路および接続配管の設置工事を実施中。







発電機車 出力3,600kW×2台

使用前事業者検査は, 現在「構造検査」および「機能・性能検査」を順次実施中。



■原子炉格納容器フィルタベント系

※格納容器の過圧破損を防止するために行うベントの際に、放射性物質の放出を1000分の1以下に低減する装置。 本体は設置済であり、現在は制御盤,電路等の敷設工事を実施中。使用前事業者検査は,現在「構造検査」および準備

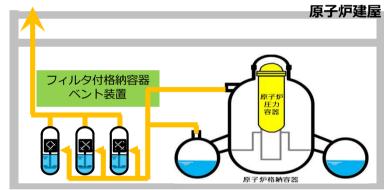
が整ったところから並行して「機能・性能検査」を順次実施中。



原子炉建屋への据付状況



見在の丁事状況



系統概要図

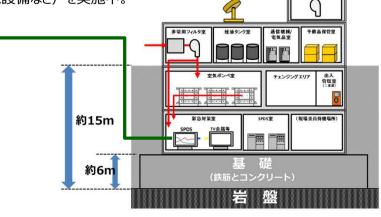
※断面図イメージ

■ 緊急時対策所 ※大規模な原子力災害が発生した場合に、現地対策本部となる指揮所機能の強化を目的として、電源設備、通信連絡設備 居住性等を確保した緊急時対策所を整備。現在、建築工事および機電工事(空調設備,電源設備など)を実施中。 使用前事業者検査は、現在「構造検査」および「機能・性能検査」を順次実施中。





緊急対策室



安全対策の実施状況 -主な工事状況4-

- ■「火災防護対策工事」の概要
- ▶ 火災防護対策工事は、発電所内で万一火災が発生した場合に、火災発生箇所と同一の区画にある設備や電線管が損傷しないよう、 断熱材などの耐火材でラッピングするとともに、ラッピングによる重量の増加を踏まえ、必要に応じて耐震補強を行うもの。



- ■「火災防護対策工事」の実施状況
- ▶ 今般、火災防護対策工事において、現場状況に応じた電線管のルート変更に伴い増加した工事物量や、当該工事の完了に向けた確認作業で工事が必要と判断した設備と電線管の工事物量を踏まえ、工事対象の電線管の総延長と工事箇所数が確定し、これにより、火災防護対策工事の工期が遅れる見通しとなったことから、安全対策工事の完了時期をあらためて精査している。

		工事対象の電線管 (総延長)	電線管の 工事箇所数	耐震補強工事の 箇所数
計	① 前回(安全対策完了時期の見直し) (2023年9月28日公表時点)	3 0 0 メートル	4 2 カ所	150カ所
画	②今回	4 3 0 メートル	5 2 カ所	評価中
実績	③これまでの工事実績 (2023年12月末時点)	2 4 0 メートル	3 1 カ所	1 4 9 カ所
④今後の工事物量 (2-3)		190メートル	2 1 カ所	評価中